

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	006 男女共同参画社会推進事業					
予算科目	01-030110-18			担当部課	市民部男女共同参画室	
市長公約	16			係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市男女共同参画推進基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市男女共同参画社会基本条例			SDGs	05ジェンダー平等を実現しよう	

事業の概要

対象	市民（市内に在住、在勤、在学する者を含む）
目的	市民と事業者、行政が協働で、より一層の男女共同参画の推進を図り、男女共同参画社会の実現を目指す。
概要 (取組内容)	つくば市男女共同参画推進基本計画を策定し、施策の実施状況や実施予定等について、毎年、年次報告書を作成し公表する。 男女共同参画社会の形成の促進を阻害すると認められる事項に関する苦情等処理し、男女共同参画社会の実現を目指す。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	378	3,043	3,500	
	決算額	(千円)	0	144	128	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	144	128	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	3,417	3,428	3,474	3,474	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	10.00	11.25	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	男女共同参画審議会
実行	特になし
評価、検証	男女共同参画審議会

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	男女共同社会の実現を目指し、つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）に基づき、施策の推進を図った。	
成果	計画管理については、審議会を通して指標の見直しや、施策の展開の仕方について意見交換したことにより、男女共同参画の施策の推進を図ることができた。苦情処理については、処理事項はなかった。	
課題	業務	男女共同参画社会の実現には、男女の地位の不平等感の解消やワーク・ライフ・バランスの推進、男女間における暴力の根絶などが課題となっている。
	組織、予算等	つくば市男女共同参画推進基本計画（2023～2027）を策定するため、市民意識調査を実施する必要がある。予算額（継続費5,445千円）の範囲で最大限の効果が出るように準備を進めることが課題である。
改善目標	市政運営において、女性が自らの能力を十分生かし、様々な分野で政策や方針決定に関わり、意見や考え方を反映させることができる審議会等委員の女性割合を高めるため、今まで以上に周知啓発を進める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	162 女性のための相談室運営事業					
予算科目	01-030110-18			担当部課	市民部男女共同参画室	
市長公約				係名		
戦略プラン	Ⅲ-3	1	4	男女共同参画や性的多様性に関する意識醸	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市男女共同参画推進基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	05ジェンダー平等を実現しよう

事業の概要

対象	市民（市内に在住、在勤、在学する者を含む）
目的	女性に対する暴力やセクシャル・ハラスメントなどについて、必要な情報を提供するとともに、女性が主体的に思考・行動できるよう相談・支援を行う。
概要 (取組内容)	相談することで相談者自身が抱えている問題の原因に気づき、自立に向けた準備や自分自身と向き合う機会を提供するための、相談事業を行う。

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	5,781	5,276	5,276	
	決算額	(千円) 5,538	5,533	5,813	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 5,538	5,533	5,813	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 2,873	3,442	3,478	3,450	3,450	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.40	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間) 20.00	20.00	31.50	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	女性のための相談室開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0
	実績	203.0	203.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	個別施策Ⅲ-3-① 多様性をいかした社会の推進 相談室の開催回数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	離婚、DVをテーマに、年度内に2回の相談員研修を実施し、相談員のスキルアップを図った。	
成果	相談者からの様々な相談に対し、相談者が主体的に考え行動に移すことができるよう、ニーズに即した傾聴・情報提供等の対応をすることにより、問題解決の一助となった。 相談件数：延べ477件	
課題	業務	相談内容が多岐にわたるため、相談員のさらなるスキルアップが必要である。
	組織、予算等	相談員の高齢化が顕在化しており、数年後を見越して徐々に若返りを図る必要がある。
改善目標	市民の利便性を考慮し、これまでの相談室から移転を行い、各種支援窓口と連携が取りやすい体制とした。円滑に情報共有ができるよう、業務日誌や報告書様式の見直しを行う必要がある。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	163 男女共同参画会議開催事業					
予算科目	01-030110-18			担当部課	市民部男女共同参画室	
市長公約				係名		
戦略プラン	Ⅲ-3	1	4	男女共同参画や性的多様性に関する意識醸	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市男女共同参画推進基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	05ジェンダー平等を実現しよう

事業の概要

対象	市民（市内に在住、在勤、在学する者を含む）
目的	男女共同参画意識の幅広い啓発と市民の交流促進を図り、男女共同参画について理解を深める。
概要 (取組内容)	男女共同参画社会の形成に向けた啓発事業として、市民や男女共同参画に関する活動等を行っている団体が参加し、それぞれの活動を紹介したパネル展示や活動状況紹介を行う。 参加者も交えて活発な情報交換・交流が図られるよう、誰もが参加しやすい交流の場を提供する。

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	1,244	999	999	
	決算額	(千円) 844	947	20	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 844	947	20	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 3,034	3,589	3,403	3,425	3,425	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.40	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間) 85.00	80.00	1.25	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(-) 有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	つくば男女共同参画フォーラム実行委員会
実行	つくば男女共同参画フォーラム実行委員会
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	来場者数 (人)						活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	200.0	225.0	250.0	275.0	300.0	336.0
	実績	207.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	個別施策Ⅲ-3-① 多様性をいかした社会の推進の指標「男女共同参画会議の参加者数を増加させます。」を達成するために、段階的に男女共同参画会議の参加者数を増加させる。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	一般の参加者を増やすことを課題としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止。	
成果	新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止。 男女共同参画社会について考えるきっかけとして、男女共同参画標語「愛ことば」を募集したところ、870件の応募があった。	
課題	業務	一般の参加者を増やすためにさらなる工夫が必要である。
	組織、予算等	実行委員会を開催し意見交換を行い、委員や活動団体等の市民意見を取り入れたイベントを開催する。
改善目標	実行委員会を開催し、事業規模の見直しや会場選び等を改めて検討する。参加者を増やすため、チラシやPR方法を見直して、これまで以上に広報活動を展開する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	164 男女共同参画セミナー事業					
予算科目	01-030110-18			担当部課	市民部男女共同参画室	
市長公約	14			係名		
戦略プラン	Ⅲ-3	1	4	男女共同参画や性的多様性に関する意識醸	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市男女共同参画推進基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	05ジェンダー平等を実現しよう

事業の概要

対象	市民（市内に在住、在勤、在学する者を含む）
目的	男女共同参画に関する意識の向上を図り、能力や行動力を高める。
概要 (取組内容)	男女の地域リーダーの育成、女性のエンパワーメント、キャリアアップ、子育てなどを目的として、毎年定期的に様々なセミナーを実施する。

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	524	385	385	
	決算額	(千円) 1,882	1,891	87	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 1,882	1,891	87	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 2,935	3,515	3,418	3,523	3,523	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.40	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間) 45.00	50.00	7.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-) 有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ等での情報発信、アンケート等
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	セミナー参加者数 (人)					活動結果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	564.0	426.0	438.0	450.0	0.0	0.0
	実績	422.0	129.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	つくば市男女共同参画推進基本計画（2018-2022）によるR 4年度までの将来指標、男100人、女350人の計450人を指標とする。※令和 2年度に指標の見直しを実施した。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	セミナーのテーマと会場規模のバランスを考え事業実施したことで、参加希望者を断ることなくセミナーを開催できた。	
成果	女性活躍や男性の家事育児促進、ワーク・ライフ・バランス等をテーマにして、計6回のセミナーを実施した。セミナーを開催することで、男女共同参画に関する意識の向上、必要な知識や技能を学ぶことができた。 参加者数：延べ129名（平均22名/回） 参加者アンケート実施：満足度92%	
課題	業務	今後のセミナーで希望するテーマや講座について参加者アンケートを行ったので、できる限り要望に応えられるように企画する必要がある。
	組織、予算等	謝礼が安いことで、講師によっては難色を示されてしまうことが課題となっている。
改善目標	年間15回の開催を目指し、早めのスケジュール調整や広報活動を行う。また、年度内に1回は性的多様性をテーマとしたセミナーを開催する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—